2・子育てしやすい練馬

このレポートは、かとうぎ桜子が区議会議員としての最初の４年間の活動について総括をするためのものです。表の面に掲げた６つの項目が、特に力を入れてきたものです。

このページでは、今までの４年間でこれらの項目について、かとうぎ桜子がどんな声をあげてきたか、またどんな課題が残っているかをご紹介させていただきます。

今回は、子育て支援のなかでも、保育園の問題について紹介します。

保育園民営化の凍結と、待機児解消

保育園の役割とは…

「保育園に求められるもの」と聞いて、皆さんはどんなことを思い浮かべますか？

ひとつには、近年全国的に激増している待機児の解消があるでしょう。そして、働く人が子育てしやすいように、長時間の保育も必要とされています。

しかしそれと同時に重要なはずなのに見逃されがちなのが、**「子どもにとって安心して過ごすことのできる環境が保障されているか」**ということではないかと私は思います。

「みんなでチョコを食べるには…？」

私が参加した、保育に関する研修会で発表されていたエピソードをご紹介します。

その保育園にある日、お客さんが来て、「子ども達にプレゼント」とチョコレートを置いていってくれたそうです。でも子ども達みんなで１個ずつ食べるには、数が足りない。

実は「はんぶんこ」にすればちょうど合う数だったので、大人が考えればすぐ答えは出るのです。でも、そこで大人が結論を出すのではなく、「どうしたらみんなが気持ちよく食べることができるかな」ということを、子ども達と一緒に話し合ったそうです。

ある子どもからは、「大きい子達だけで食べれば足りるよ」という意見が出ます。「でも小さい子も食べたいはずだよね…」と他の子。「今ここにいる人だけでこっそり食べてしまえば、だれも気付かない…」という誘惑に駆られたりもします。でもそれはいけないよね、と話し合う。

そして話し合いを始めて４日目、ついに「はんぶんこ」の結論に至ったそうです。

子どもの成長は、「数が数えられる」「文字が書ける」といったことだけで測れるものではありません。**どんなに時間をかけても子ども達が自分たち自身で考えていくことで、じっくりと「ともに育ち学びあう」ことの大切さ**を改めて感じるエピソードでした。

子どもの生活を置き去りにした「民営化」

練馬区は、区立保育園の民営化（運営業務委託）を進めています。

「公立の保育園は人件費が高いが、私立は若い保育士さんが多いので人件費が安く抑えられる。そこで公立保育園を民間に委託することで経費削減をし、その分で新たな子育て支援施策をしたい」という理屈です。これによって１園あたり年間４千万円ほどの削減が見込まれるといいます。

事業者も引き受けづらい状況

区は、「委託をしても今までの保育の質は下げないし、区も責任を持つので安心だ」と説明します。しかし、実際には園長先生も保育士も、関わるスタッフ全員入れ替わるのです。**建物は変わらないけれど、中身はまったく新しい保育園になるようなものです。**

保育士も働きづらい

民営化で経費が削減できるというのは、つまり、人件費が安いのです。区は、「いたずらに低いお給料の設定をしているわけではなく、保育士の平均年齢が低いから人件費が抑えられるだけだ」といいます。しかし、将来的に民営化園の保育士が定着すれば、保育士の平均年齢も上がり、その分人件費も上がりますから、経費の削減にはなりません。**もし経費削減が永続的に続くのであれば、それは保育士が短期間で辞めてしまう環境**であるということです。

民営化によって大きく変わってしまう保育園に、子どもも保護者も、そして保育士も事業者もみんな大変な思いをしています。

それでも練馬区がひたすら民営化を進めるのは、保育を必要とする区民のためというよりも、「いったん発表した計画を実現したい」と意地を張っているだけではないかとさえ思えてしまいます。

保育園をめぐってこのような混乱があると、冒頭に挙げたエピソードのような、子どもとその周りの大人がゆったりとした時間の中で育ちあう機会が奪われるのではないでしょうか。

その一方で、増える待機児童

数年来の不況の影響で、練馬区の保育園待機児は減るどころか増える一方です。２００８年度までは２５０人程度で推移していたのですが、２００９年度は４２９人、２０１０年度は５５２人。

待機が増えると起きる問題は、保護者の働く機会を奪うことだけではありません。不安定・低賃金で仕事をせざるを得ない人が認可保育園に入れずに、利用料の高い認証保育所や無認可の保育園に預けなければならないという事態も発生しています。

大変な労力を使って公立園の民営化を進めるよりも、その力と経費を新たな私立認可保育園の誘致に傾注するほうが、「子育てしやすい練馬」によほど近道です。

私は、公立保育園の民営化の凍結と早急な待機児解消を求めていきます。

練馬区の保育園の状況

【保育園数】（2010 年 5 月現在）
区立 60 園（うち、民間委託 7 園）、私立 24 園

【待機児数】
2007 年度　243 人
2008 年度　254 人
2009 年度　429 人
2010 年度　552 人

かとうぎ桜子の活動をお手伝いいただけませんか？

かとうぎ桜子事務所では、以下のような形で活動にご参加いただける方を必要としています。
ぜひ、ご協力ください。

① このチラシに、かとうぎ桜子の活動賛同者としてお名前を載せる
② ポスターを自分の家や近所に貼る
③ 練馬区内にお住まいの友人・知人を紹介する
④ 事務作業の手伝いや電話かけをする
⑤ ビラ配りをする
⑥ カンパをする

【郵便局】
00130-2-496362 市民ふくしフォーラム

【銀行】
三菱東京ＵＦＪ銀行大泉支店
(普通)４６７２３８８
かとうぎ桜子を育てる会

その他、励ましをいただけると大変心強いです！